

厳しい暑さが続いたこの夏、子どもたちは汗を光らせながらプールや色水遊び、泡遊び、氷遊びなど夏の遊びを思いきり楽しみました。「泡がモコモコでソフトクリームみたい」「氷冷たくてツルツル!」などそれぞれ感じたことを友だちや保育者と共有しながら夢中になって満喫していました。また、保育センターで初めての大きなプールにワクワクし、テラスにプールが組み立てられると「うわ〜おおいね!」「プール楽しみだね!」と心待ちにしている様子が伝わってきました。プールではフニ歩きをしたり、フープをくぐったり、顔に水がかかっても平気な顔で水しぶきをたくさん上げながら友だちや保育者と水に親しみました。また、プール内をぐるぐると走り、水の流れを作って体を浮かべる“洗濯機”という遊びを楽しむなど、全身を動かしながら水の気持ち良さを存分に感じることができました。

お店屋さんごっこでは子どもたちとの話し合いでパン屋さんをすることになりました。どんなパンを作りたいか、素材をどうするかなどみんなでアイデアを出しながら進めています。おいしそうなパンが少しずつできているので、また見てみてくださいね!

今月は運動用具を使ってサーキット遊びや、ピアノに合わせてリズム表現遊びなど体を思いきり動かす活動も取り入れていきます。遊びの中で友だちと一緒に体を動かす喜びや心地良さを感じて欲しいと思います。一人ひとりのやってみようとする気持ちや楽しむ気持ちに寄り添いながら、見守っていききたいと思います。



トイレのあとの手洗いをしていたAくん。鏡を見ながらボソッと…
「どうしたら涼しくなるんだよ〜」と呟いていました。思わず、「ほんとに! 教えて欲しいよね〜」と保育者が反応すると…

“え! 聞かれてた!” という表情で照れていたAくん。
今年の夏の暑さ。Aくんの呟きにを思わず共感してしまいました(笑)

ひつじぐみの夏は暑い、そして熱い夏でした。プールでは自分から水に顔をつけようと挑戦し、顔に水がかかるのを嫌がっていた友だちもいつの間にか、バケツを使って友だちと水のかけ合いをしたり、水中フープくぐりを楽しんだりして元気いっぱい夏を楽しんでいました。そして暑さの合間に出た園庭では、カマキリやバッタ、セミなどたくさんの虫を見つけることができ、小さな虫博士たちが「これはね、〇〇っていう虫だよ」「この虫に毒はないよ」など知っていることを教えてくれました。あっという間に虫が子どもたちに囲まれているという風景がよく見られ、今ではセミのオス・メスの見分けがつけられるほどになりました。

室内の制作では、空き箱等を利用してジュラシックパークを表現したり、くじ引き屋さんができたり、一人がやり始めるといつの間にか「ここ、だれか持って〜手伝って!」や「一緒にやろう?」と友だちと一緒に楽しんでいます。関わりが増えてきた分、自分の思うように進めようとするとトラブルになることもあります。その都度どうすればよかったのか、友だちにどう伝えればよかったのかなど一緒に考える機会を大切にしています。自分の気持ちだけでなく他者の気持ちも考えながら関わっていけるように、見守っていききたいと思います。今月は、季節の移ろいを感じながら戸外遊びの時間も増やしていきます。体をたくさん動かす楽しさを味わい、ルールのある遊びや集団での活動を通して、友だちと協力することの楽しさや大切さを感じられるように、子どもたちの気持ちに寄り添いながら過ごしていききたいと思います。



赤・青・黄色・白の色水で遊んでいた時のことです。いろいろな色に白を加えることでおいしそうなカルピスに見えてきました。

Aちゃん「見て! ぶどうカリピスだよ! 紫に白をいれたんだ!」

Bちゃん「こっちもできたよ! ほら、おれんじカリピス!!」

少しずつ違うカルピスの言い方がかわいくて、ごちそうしてくれたカルピスを思わず吹き出そうになりました。

「お泊まり保育まで、あと何日か数えてみよう!」と話をしてからはや数か月が過ぎ、いよいよ待ちに待った日が目前までやってきました。「お風呂は誰と入るの?」「公園広いね。このトランポリンやったことある!」「みんなで寝るんだよね? めっちゃ楽しみ!」と、写真を見ながら期待を膨らませてきたぞう組の子どもたちです。クラスでもグループの名前を考えたり、グループリーダーの保育者とキャンプファイヤーで 行うスタンツを考えたり、チームフラッグ作りをしたり、少しずつ準備を進めてきました。スタンツの内容を決める時に、「他のグループの友だちには内緒にして、当日驚かせようね」と伝えていたので、お昼にグループで秘密の会議をすることも特別で楽しい時間となっていた様です。

保護者の方と離れて泊まることに不安を覚えていた子どももいましたが、一緒に準備をしていく中で、グループの友だちや保育者との繋がりを感じて楽しみに思う気持ちと、“友だちや先生たちも一緒にだから大丈夫”という心強い気持ちも芽生えていることを感じます。子どもたちの気持ちを受けとめながら今しかできない経験を思う存分楽しみ、かけがえのない大切な思い出を作りたいと思います。残りの準備も子どもたちと進めながら、当日を嬉しい気持ちで迎えたいと思います。



暑い日が続いていた時のことです。

Aくん「先生、今日のピジョンくん、紫色らしいで!」

保育者「朝起きた時から暑かったもんね」

Bくん「そういえば、ヒマワリも枯れそうになってた!」

Aくん「暑いからぐったりしてたのかな? お水あげに行った方がいいんじゃない?」

何気ない会話の中からも優しさを感じることができ、ほっこりとした気持ちになりました。